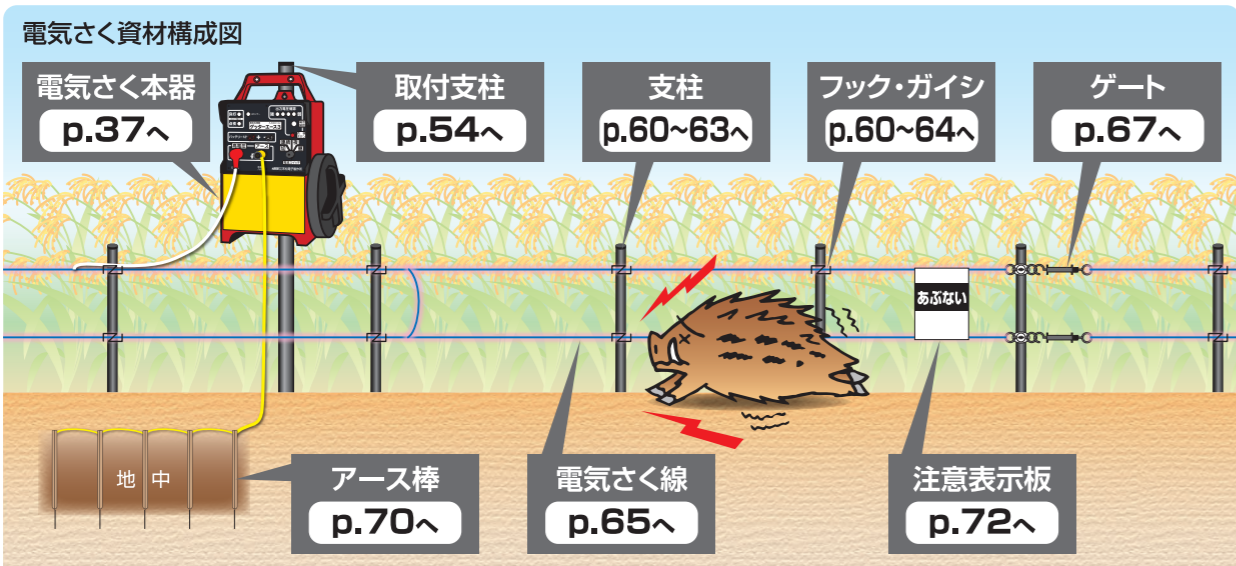


電気さく資材の基本的な選び方



1. 必要な資材を選ぶために、以下の設置条件をまず確認しましょう。

●電気さくを設置する長さを測る

※1反の周囲の長さ=約125m

A m

●対象動物の確認

対象動物	おすすめの張り方	B <input type="text"/> 段張り
イノシシ	2段張り	動物によって電気さくの張り方が変わります。詳しくは、対象物別資材のページを参照ください。
タヌキ	3段張り	
シカ	5段張り	

2. 設置条件を元にした必要資材の割り出し方

●さく線(電線)の総電線長の算出方法 (設置に必要なさく線の長さ)

$$\text{設置する場所の長さ} \times \text{電気さくの段数} = \text{総電線長}$$

A m × B 段 = m

●支柱の必要数の出し方

$$\text{設置する場所の長さ} \div \text{支柱の間隔} = \text{支柱の必要数}$$

A m ÷ m = C 本

支柱の間隔は、こちらを参考にしてください。
 ・平坦(圃場整備されている)…約4m
 ・平坦(圃場整備されていない)…約3m
 ・棚田や斜面…約2.5m
 例) 斜面の場合 500m ÷ 2.5m = 200本

●ガイシ・フックの必要数の出し方

$$\text{支柱の本数} \times \text{電気さくの段数} = \text{必要数}$$

C 本 × B 段 = 個

3. 出入りに必要な資材の割り出し方

●ゲートの必要数の出し方

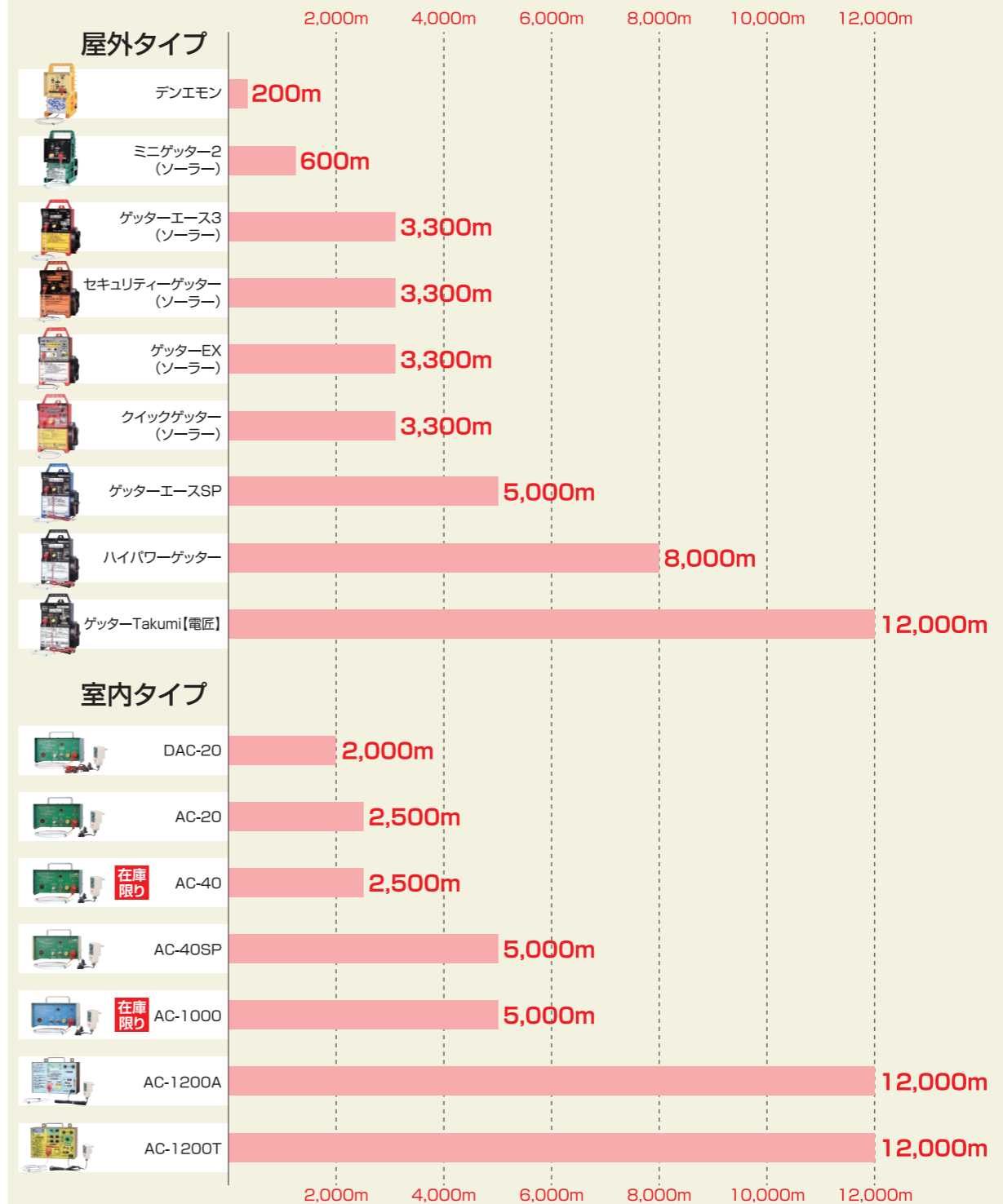
$$\text{出入り口の数} \times \text{電気さくの段数} = \text{必要数}$$

箇所 × B 段 = 個

4. 本器(電気さく用電源装置)の選び方のポイント

●総電線長を超える最大電線長の出力がある機種を選ぶ

例) 総電線長3,000m → 最大電線長3,300mのゲッターエース3



※出力電圧は、使用環境により異なりますのでテスターでご確認ください。

